

歴史論(菅平スキー場にて 鄭明析総裁 96'3,15)

教祖は台湾巡回の時に歴史論をした歴史の講義がまるで骨のように入るんだ。歴史論をしっかりと学ぶとどのような位置で走ればいいのか分かる。歴史の講義を聞いてから教祖も深い境地に入って何をすればいいのか分かるようになった。

ダニ(エル書)12:7~13

必修科目で欠かせないことはその民族の歴史だ。私たちもこの摂理の信仰の世界でも信仰の歴史について詳しく知らないのだめだ。この歴史、摂理がどこから来て、誰から始まったのか疑問はないか。

ダニエルはその時代に神に送られた大預言者だ。全てのことは神が送った預言者、中心人物を通して歴史が変わって行くようになる。イスラエル民はバビロンに捕虜として連れられた。イスラエルが信仰や経済で栄えていた時にバビロンに襲われて植民地になったのだ。しかしその当時、なぜ神の人がバビロンに襲われて連れられ奴隷のようになるのか分かる人はいない(だめ)。それは政治、信仰の腐敗が深刻で神が刑罰を与えたことだった。人が自分たちの世界のように考えて生きているが、詳しくみると、神はすることはして、主管して世の中を導くということを知らないのだめだ。だから、イスラエル人が好きな通りにはできないのだ。イスラエル人が神の言うことを聞かずに、神を信じないので、神が鞭で打った。連れられて獄の中で苦しみを受けるように神が罰を与えた。だから世の全てで神と関係のないものは一つもない。祝福、災いも歴史の流れがある。

ダニエルも奴隷としてバビロンに連れ去られた。神やその時代にうまく仕えて信じていてもイスラエル民が捕虜とされた時には一緒に連れて行かれるしかない。神が救って上げることができたが、ダニエルが行かないとイスラエル人がもっと苦しむことになったのだ。ダニエルは神の人だからどこに行くとしても神が使う所につれられて行くしかなかった。

イスラエルの歴史を見ると、バビロンに捕虜にされたり、アッシリアに襲われたり、カルケミシに滅ぼされたりエジプト(Eg)に奴隷として連れられたりした。なぜ、イスラエル人は神に愛される民族なのにそういう災いにあったか。

いかに選ばれた民族だとしても、その時その時にうまくしないとその罪でそれらの国を通して神はうつ。どのような民族でもイスラエル民族のように神から刑罰を受けていることを忘れてはだめだ。韓国民族も日本に40年支配されたが、それ以前は宗教と政治がとても腐っていた。なぜ、それが神のしていることと分かったか。聖書の歴史の刑罰の期間が40

年とあるが、それ以外には40という数字は出てこない。私たちの手で色々しているように見えても深くみると神がしていることだ！

人が悟らないからわからないだけ。韓国民族もそれを悟らないで、反日感情を持って生きている。教祖は神がしていることだと分かるから、韓国人たちが持っているような感覚はない。根本を悟ると悪い感情を持たなくなる。日本よりも韓国人が先に悟らないとだめだ。なぜ、先に悟らないとだめか、韓国は信仰の民族だから。信仰の国が信仰的に悟らないとだめだ。信仰として悟れない人は天の神の仕業だと考える。これを悟ると、国際関係の問題(pr)もうまくとける。

韓国語はとても信仰的な言葉で、高い表現のできる言葉だ。他の言語では信仰的な深い表現をするのは難しい。宗教的な言葉も豊かだ。英語や日本語ではうまく表現ができない。聖書の解釈も韓国人が読みながらすると深い世界までできる。敵が死んだとして「死んだ」と言うだけでは足りない。

日本も戦後に大変なことがあった。韓国を支配している間に第二次世界大戦を受けて、一般市民も苦しんだ。なぜ、第二次世界大戦が起こって血だらけの思いをしたか。全て神と関係のあること。世で動いている歴史の秘密を神の世界で悟ってきた。

アメリカは最後の戦争を終結するために長崎と広島に原爆を投下した。皆、アメリカに敵対心を持つ。韓国の戦争後の子孫も経験がないのに、過去の歴史を学んで悪い感情を持つ。日本人も韓国を40年支配して何か悟らないとだめだ。韓国の政治が腐敗していることを知って、外だけでなく中身となる宗教が腐っていることを悟るべきだった。

なぜ、韓国は神を信じているのに大変な目に会ったのか。日本人が韓国を支配して神社の神を植えつけようとした。神を一生懸命信じず、仕えないから日本人に支配されていることを日本人は悟るべきだったのに、悟れなかった。韓国人は神を信仰する多くの人が、なぜ、神を信じているのに日本から苦しみを受けているかを日本人が知るべきだったかわからない。神に仕え、信じないから、神が日本を通して殴っていることに気付かなかった。だから神はとても怒り、皆を神だとして、神を信じる人を神から離れさせて動物を拝ませるとどう思うか。ある人に恋人がいて命をかけて愛されないからと言って女の人を殴ったとする。それで他人がその女の人を連れていってしまった。すると男の人はとても怒り、夫婦がいて妻が連れて行かれて、その人を直接殴れないから、他の人(やくざ)を通して殴ったことと同じ。世の中で御言葉の歴史に詳しい歴史学者も教祖のような話はできない。韓国も神中心にしない政治をしてこのように辛い目に会っていると悟って、日本も神中心の

政治をすべきだったのに、そうせずに人間的な腐った政治をした。政治とは神の代わりに民を導くことだから、神中心にしないとだめだ。私だけ使って自分を神格化させると神はとても怒る。教祖は指導者としても自分の事だけではなく、イエスについて話しながら証をしている。

天皇は自分を神だと講じて人を使っていた。天皇は天を証しないとだめなのに、神を呼ばないでいいか。世の全てを保持しないとだめなのに、天の王、若い人は古い政治や制度に関心がない。若い人の心に合わないから新しい世の政治制度を好んで受けようとする。王なら色々管理してまわらないとだめだ。王なら皆が会いたい。しかし見るだけで終わるから親しみが湧いて来ない。だから神から送られた教祖は皆と親しくしたりして導いたりする。教祖はすることがなくてスキーをしているのではない。教祖が座っているだけで、各国の人が来る。皆と親しくするために皆の中に入るのだ。飛行機に乗るには自分の家から飛行場に行かないとだめだ。皆はスキー場で教祖と親しくしないとだめだ。

だから韓国の教訓を生かして、韓国がなぜ辛い思いをしたのかを考えて、日本も政治、宗教の腐敗はだめだと悟らないとだめだ。40年の期間を与えて神は悟らせようとしたのに、一つも悟ってない。最終的にはアメリカを通して神は日本を大きな鞭で殴った。天皇は自分は神だと言ったが、原爆2発の前に手を上げるしかない。アメリカは宗教の長男になる国だった。アメリカがキリスト教の長男だったが、天皇が神と言っている日本が勝つと困るから、神がアメリカを通してうったのだ。だから、韓国と日本は殴られたと考えるといい。政治と宗教の腐敗で教祖はそれを詳しく知った。その時代は互いに殴られたが、私たちはそうならないようにしないとだめだ。だから神と人と慣れて助けて愛して下さい。神ととても親しい人が一人いても神からの災いをさけることができる。神と親しいことはその位大きいことだ。一つの民族は一人の義人よりも勝らない。北朝鮮が原爆で日本、韓国を打つと騒いだ事件があったが教祖がいたから起こらなかった。北朝鮮と韓国は一つの民族。離れてすむから敵になる。戦争の前兆があるとなぜこんなことが起こるか心配していた。人が神を怒らせると神が戦争を起こすような大変なことを与える。戦争が起こると韓半島が全滅する。韓国に戦争が起こるといいう話があって心配している人がいた。その時は日本も被爆範囲に入っていて危なかった。教祖は使命があるのに逃げるといかに恥ずかしいか。戦争が起こっても助からないとだめだ。金日成が原爆を落とすと言っていたのでウォルミョンドンに洞窟を作った。原爆の光が入らないようにジグザグに掘り出した。生き残って、この歴史を広げるために。それで神に「怒って生きることができない。あまり

に洞窟が固くて掘れない。日成が悪人ならなくすようにして下さい。私が悪いなら私になくなるように」と祈った。1万2千人が集まって祈った。1500人のリーダーが集まって祈った。神は祈りを聞いて「心配いらぬ。私が全て助ける」と。「あなたは再び喜ぶだろう」と。また、夢の中で啓示。大きな豚を殺す夢。教祖は夢をよくとけるから分かる。日成が死ぬと分かった。3回夢見て、その次の週にエドムを裁くと主日で御言葉(を發した)。それを宣布して21日後に亡くなった。大阪の地震の前も70人位がウォルションドンで祈ったからあれ位で済んだ。日本も大変なことがあると祈って下さい。だから全て神と関係ないものはない。神は精密に個人、家庭、民族、世界まで働くことを知らないとだめだ。

人が自分が神と言って、指導者が間違っただけの下の人が苦しむことがある。それで日本も悟ると prしないのだめなのに、キリスト教にうたれてキリスト教にもっと悪い感情を持つようになった。イエスを信じる宗教を受け入れなくなった。それで心だけ頼るから石、木、動物を拜んだりして低い信仰を持つようになった。日本ができて御言葉の深い真理の世界に入ったのは皆だ。皆を通して日本の未来を考える。皆がしっかりと祈ると祈った通りに未来が変わって投資できる。皆が祈らないとこの国は殺伐とした未来になる。だから皆の責任は大きい。皆は神に多くの時間を使って生きているから大きな使命と責任を考えて生きないとだめだ。この世は家族を拡大した世界だ。だから大国が長男。日本もキリスト教が入って長い時間が経っているのにキリスト教が栄えない理由はそのような所にある。しかし韓国は艱難の中で悔い改めて1200万に至る神を信じる人が増えた。2、3人に一人はクリスチャン。教会は5万。既成の教会は減っていく傾向にある。増えるのは私たちだけだ。私たちは歴史がどのように流れているか、証して祈らないとだめだ。どう流れているかわからないのに祈ると困る。難しい言葉ではだめだ。教祖が分かりやすく物語のように話すから何か悟るはずだ。

今、最後の7年の歴史を走っている。キリスト教では、2000年にメシアが雲に乗ってくると信じている。2000年で世界が変わると考える歴史なら、少なくとも人が雲のように集まらないとだめである。だから、私たちの歴史をはっきり知って、この歴史ならすべて作れるという意図に燃えて走らないとだめである。3年半の夜のような期間が1999年から始まる。サッカーの前半が終わると休憩があるように、後半の21年は2023年まで。その時になると考えられないくらいに世界に広がって楽しくなる。後半期になると日本も大きくなる。皆が柱になって日本を上手く引っ張る人にならないとだめ。一生懸命学んで、伝える

なら、一人一人が教役者となって 300 の教会になる。韓国も 200 から 700 の教会を作るように言った。最後の 7 年の頃は R は 77 歳になる。皆は 40、50 代に。だから若い時に頑張らないとだめ。後半期に入ると世の中の大勢の群衆がついて来る。この歴史は地球上の最後の宗教の歴史。これ以上のみ言葉は出てこない。統一協会も自分たちが最後の歴史、メシアだと色々言ってやってきた。それで R は神に導かれて色々な宗教を回り、そこも回った。そこは偶像崇拜をしていた。神を信じている人がいるが、旧約聖書のように俗信、迷信的な信仰を持ち、サッカーの試合前に塩をまいたりして悪霊を追い出そうとする。しかし、そうすると悪霊はどんどん集まる。もっと上品な信仰を持つべきである。これから私たちが嬉しい時はハレルヤと（言おう）。拍手は信仰のない人も嬉しい時にする。ハレルヤはヘブル語で嬉しいの意味。文鮮明が救い主ならなぜ偶像を拜むのか。ユダヤ教徒でも偶像をなくそうとするのに。それ一つ見てもその人は救い主ではない。歴代誌下 33 に詳しく書いている。象徴的にマナセとして出てくる。しかし、今は時となって 20 年前に神が黙示として与えたものを宣布してしまった。ここに神が来ているとしても、それを拜むと偶像になる。R におじぎしても偶像はだめ。R はそれではおじぎをしなかった。だから指導者には何か間違っていることがある。自分がメシアだと言ってメシアになるのではなく、していることで分かる。統一協会は信じてついてくることを、お金を稼ぐことに専念させて、日本人は物質を中心にして嫌う。また、占い師を霊的な人と認めている。その人たちを中心にその人を通して何かしようと思っている。偶像を拜むと旧約聖書の信仰。イエスを迎えたバプテスマのヨハネは、イエスに会ったのに、旧約聖書の時代の信仰に戻ってしまった。それくらいの信仰の人は、私たちのところに来てみ言葉を聞かないとだめ。そういうみ言葉をもって色々教えると統一の人の心が変わってしまった。R は、それは偶像だと強く話した。しかし、その人たちも 50 年歴史を作ってきた。マナセはイスラエルを 55 年統治した。文鮮明も年をとって死ぬ直前だ。キリスト教では偶像崇拜だと敵対している。精神がおかしいと、小さな子もイエスを信じると偶像崇拜はだめなのに。それに、その教会は、私たちは回復されたと酒も飲む。私たちは健康のためにコーラを飲んでもだめ。R は 30 年間ろくに食べたいものも食べられないのに、あなたがたは食べたいものを我慢しないとだめ。50 代で死ぬと困る。健康に害なら我慢して耐えないとだめ。皆は免疫が弱いからカフェインは体を痛める。もう少し強いと少しは飲んでもいい。初めは辛いが今は大丈夫になる。小さな子も R が言って飲まなくなった。私たちは他の宗教も悟って知らないとだめ。宗教を間違えると自分のすべての人生を滅ぼすし、物質世界に流されると ph（肉）的

になって永遠の命を得られない。宗教の世界は救いを与えないとだめ。Rも金を稼ごうとするとすぐに稼げる。これから歴史が大きくなるとRの本部を生家へ移す。空港もウルミョンドンに近いところにできた。韓国にも日本の新幹線のような列車ができる。ウルミョンドンまでソウルから1時間20分位。

1978年から前半21年と、「ひと時ふた時半時」ので3年半と、後半21年で45年。1978年+45年=2023年。688年+1335年=2023年 私たちには1999年は前半期の終わりの時であり、すべてが終わる。今まで死んだたくさん人の霊が新しい歴史を待ち、歴史論を勉強した時からRが何をすればいいか分かるようになった。1978年5月31日にすべてを切って神のみ言葉をもってソウルへ上った。1人で始めても神の歴史だからすぐに全世界に広がった。歴史は隠してもいつかは現れる。神が働くようになると皆は神の大きな人となって、神の歴史を目立つくらい作ることができる。

Rは34歳から歴史を始めた。イエスは歴史を作って33歳で亡くなった。イエスはその続きの歴史を作っていくことと言った。イエスは33歳で足台のph(肉体)が亡くなった。Ph(肉体)がないから神の啓示を示すことができなくなった。肉体を練達させて足台になると続きの歴史を広げるようになる。どのような時でもRは神から啓示を受ける。皆は幼いと思わないで、一生懸命に摂理を走ってください。Rは自分のことをよく？と思う人。Rは霊的だから見るだけで分かる。Rと親しくなるにもRはこれ以上親しくできないくらいだ。飛行機に乗るには少なくとも空港に行かないとだめ。もっと近くに行く努力をしないとだめ。宗教の世界でRより深いみ言葉を持っている人はない。エリートのパライド、歴史の意識を心に持って生きるようにして下さい。大きな人ほど純粋さを持っている。韓国の大きな人もRの純粋さに驚いている。

アラブではイスラム教が盛ん。イスラム教はどのように始まったか。これも歴史であり、今はイスラム教はとても大きい。

神はソドムとゴモラを裁きに行く時にアブラハムのところに寄った。「あなたは知っておきなさい」と。ソドムとゴモラは神を信じず、栄光を捧げずに人間的に生きて神に裁かれた城だ。神はアブラハムに「今も子が産まれないか」と聞いて、「あなたの妻から子が産まれる」と言った。サライは「年をとっているのにどのようにして産めるのか」と言った。アブラハムは子孫を生むために僕のハガルを通して後継ぎを得ようとした。子を産むとサライよりハガルが高ぶる心で振舞うようになった。それでサライはハガルを妬みだした。サ

ライはその親子を嫌ってハガルたちは荒野へ逃げた。僕だから従うしかない。すると神の僕からの啓示で、サライがあなたを妬んでも我慢して生きなさいと。アブラハムがあなたを愛して子を産んだからあなたも良くすると。そしてハガルは子を連れて家に戻った。ハガルは啓示を受けて戻ったとして家でプライドを持って、子孫から大きな民族が作られると考えた。イシマエルが大きくなって、サラが子を産むと神が啓示を与えて、サラから子が産まれた。それがイサクである。アブラハムは妻2人で悩んだ。創世記 21:11 で、ハガルには神の僕が行って慰めた。僕には神の僕が啓示を示した。そしてイサクもイシマエルも大きくなった。

イシマエルは僕から生まれて成長して僕として認識された。サラは僕ではない。愛する妻だからイサクは僕ではない。イシマエルの子孫が神の僕から啓示を受けて作ったのがイスラム教である。イサク中心に大きく作られたのがユダヤ教。ユダヤ教の神殿をイシマエルの子孫が打ち壊して自分の神殿を建てた。カインに近い宗教が、アベルに近い宗教を打ち壊した。ユダヤ教の神殿を打ち壊して、その上にイスラム教の神殿を建てたのが 688 年である。種は同じだが、違う母から生まれるようになってしまった。

結局、サラが子を産めないでハガルが子を産むようになった。イスラム教の歴史の起源はこのように始まった。僕が息子を迫害した。しかし、神は息子に正統の歴史を与えてくださった。ハガルを通して子孫を得ようとしたのは肉的な考えだった。イエスはイサクの子孫から産まれた。僕の子孫からではない。今もユダヤ教とイスラム教は仲が悪い。イスラム教がユダヤ教をいじめる。アブラハムの2人の母から産まれた子によって大きな宗教の信仰が起こるようになった。元の妻が使命を果たせない時にハガルのような歴史が起こる。統一協会の歴史はハガルのような歴史。それは僕、偶像崇拜の歴史である。キリスト教が正しい実を結ばないから統一協会のような歴史が始まった。

Rは20年間にこういう深い悟りを得た。Rはキリスト教から生まれたが、その時は力がなくて、こういう話はしなかった。Rは正統なキリスト教から産まれた。中心人物は中心的歴史から始まる。世界には多くの宗教があるが、ユダヤ教、カトリック、プロテスタントに中心的歴史が連綿と続いている。仏教は周辺の歴史。神の中心の歴史の中に入っていない。Rはイサクのようなキリスト教の歴史から出た。Rは息子が20歳位に成長しているのに、僕が大きくしているのを見ていられない。だから統一協会は何もないと話せる。しかし、統一は凄いとついていく人もいる。だがハガルの宗教に過ぎない。啓示を受けたが神に遣わされた霊から受けた。Rは神から直接啓示を受けた。イエスが臨んでイエスから送

られた人ならイエスを証して仕えないとだめなのにそうしない。イエスをメシアとして認めるが仕えていない。イエスが送った人が再臨主になる。統一の人は僕のように旧約の風習で仕えている人たち。だからRが一言で彼らを僕として歴史が決まってしまった。それは旧約の信仰に従って生活をしているからだ。だからRはすべての宗教について一つ一つ教えないとだめ。だから統一協会はRを嫌う。20年間語らないようにと神が言ったのだ。私たちの歴史を始めるために前に立って道を整えることに過ぎない。私たちは、若い人が多く集まっているから、統一協会と考える人がいる。そこはリバイバルとして占い師を使う。霊的な占い師を風習として使う。初めの方の人も占い師から祈りを受けている。異言を死んだ霊が語るという。コリント書に異言は霊が語るものとあるのに。そこは聖書をあまり読んでいない。自己（流の勝手な）解釈をしている。メシアは聖書を成し遂げて世に現れるようになる。あそこにはなぜ人がたくさん集まるか。それはあらゆる人が集まっているから。あらゆる人たちを会員として入れているから多い。虎だけでなく、猫やネズミも数えているから多い。成長して20年位の歴史が経っているからあそこは僕の歴史だと話す。

もしその人たちと争う時は、「なぜ救い主が偶像崇拜するか」と言うと言い返せない。「神にお辞儀しているだけで崇拜ではない」と言う。しかし「ブタの頭が神か」と言える。水準の低い人がついて行っている。Rのように賢い人はそういう宗教に溺れない。韓国でもしっかり信仰を持っている人は、そこに行かない。だから使命をもらう時は神から大きないい使命をもらわないとだめ。

歴史のみ言葉の核心は先程触れた。ヨセフが出た後400年でモーセが現れた。それも聖書のひと時ふた時半時と言える。モーセの後には、400年の士師の時代があった。イスラエルが王を願って、サウル40年、ソロモン40年、ダビデ40年の統一の時代があった。イスラエルが南北分立して、レハベアムとヤラベアムに別れて400年の分立時代があった。韓国も南北に分かれている。それは蕩滅期間。人が統一しようとしても時にならないとだめ。地球は人が住んでいるが、主人は神だということを悟らないとだめ。その後、分立時代が終わって、イスラエルの人がバビロン捕囚の時代になった。その人たちが帰ってきて、マラキから400年でイエスが来た。マラキ以降の400年間がキリストの準備期間。預言者がいなかった期間。だからメシアが来ても預言者がいなかったのですべて墮落した世界になっていた。ヨセフから（ ）年でイエスが来た。新約の時代は旧約のようにメシア待つという同時性の歴史を繰り返す。ヨセフの後に400年の期間があったように、イエスの

後400年間のローマの(時代)が続いた。アウグスティヌスが現れて士師の時代のように400年が続いた。統一王国時代が120年あったようにカールI II III世のキリスト王国時代があった。その後東西分立して西・東フランク王国が400年間分かれた。旧約の歴史は聖書にすべて記録されている。アビニオンでローマ教皇が捕虜として210年支配された。マラキが来て400年でイエスが来たように、ルターが宗教改革をして今400年経っている。今、誰かが来ないとならない。そのルターはいつ活動していたか。ルターは1517年に宗教改革をした。21年間の使命期間が与えられた。それは公生涯の21年間。ひと時ふた時半時の21年。3年6ヶ月のひと時が過ぎて、過ぎて1541年、その後、カルヴァンが宗教改革を始めた。1546年にルターが死去。ルターが死んで400年、1946年になると誰かが来ないとだめ。Rは1945年生まれ。1946年には(まだ)赤ん坊。赤ん坊がどのような使命を果たすか。誰かが使命を果たさないとだめ。その時代に始まった宗教をみると、統一協会が1946年から始まった。1954年から統一協会の時代が始まるようになった。その期間から21年で1975年に前半の歴史が終わることになった。3年半で1978年。Rは1978年から始めた。だから統一協会は後から来る時代の前の、本物が来るための影の時代の宗教だった。Rが使命をもらって果たす時に統一協会は受け入れるべきなのにそうしなかった。その時に統一協会からついて来る人もいた。Rと面談して、自分が従っている人はキリストではないと話す人もいた。Rがしていることに反対してついてこない人も多くいた。そして、Rに従わない人はおいて新しい歴史を始めた。

バプテスマのヨハネが流れたように、歴史として流れてしまった。そして汚れていない人だけを集めて再びこの歴史を作るようになった。歴史意識をはっきり持っている人が来て摂理の柱、指導者になった。Rが統一協会使命をもらってみ言葉を伝えている時は、Rをただのキリスト教の伝道師と考えていた。Rがみ言葉を伝えると、多くの人が従った。Rが出て来て新しい歴史を作ろうとしたとき、文鮮明は「あなたは使命を果たせないから誰か連れて行くためにキリスト教から人が来ている」と話した。そこは伝道する人がたくさんしても何百人もする人は少なかった。Rは数万の人を伝道していることをその教会の人は知った。今になって統一協会の人は、大きな人がその教会の間違いを指摘するために来たと思った。もしそこから来ている人がRに従っていたら、浄化して新しい歴史を作るはずだ。その人たちは偶然拝むという恥ずかしい信仰で今の時代に恥をかく人になってしまった。使命をもらったRが話したときについて来ていたら恥をかくことなく、もっと理想的に甦ったのに、そうならないで終わってしまった。その人もバプテスマのヨハネのよ

うに足台を作ったからRが来て間違いを訂正して足台としてもっと摂理を広げると大きくなったのに、そうしなかったから新しい歴史を作るしかなかった。統一協会はその存在が失われた。その人たちは肉的で、Rは靈的。肉は一定期間が経つと消える。こういう根本を知ると統一協会がどういう宗教かよく分かるし、歴史の本質が分かる。その人はこういう理由で彼らが歴史と知っているが違うと話す。聖書のみ言葉どおりにしているのに、聖書の通りでないところが、どのような歴史を作るというのか。偶像崇拜しているところがどうして世を救うか。聖書の根本を今まで封印されてきた秘密を探ってきたRだ。偶像崇拜でない、旧約の宗教に従うのではない、現実にはふさわしい歴史を今作って知っている。皆、はっきりと分かってみ言葉に従うと成長する。統一協会はなぜ悪いのか。何が間違っているのか。皆はっきりと分かった。既成の教会はこういう **pr**(プライド?)があるから上手くできない。イエスを信じて従うことが復活引き上げなのに、それが分からずに、空中に引き上げられて肉的に復活すると思っている。統一協会はすべてのことを金をもうけるための悪事を働いている。Rは心から皆の結婚を祝う。統一協会は韓国でも、この間は36万人が結婚するので騒いでいたが、お金を稼ぐためのことだと批判されている。統一協会は文鮮明を父と考えて仕えている。どういう風に父が子を結婚させて金を稼ぐために使うというのか。だから **pr** がある。言葉と構造が違う。友人も式場をただで貸して祝うのに、悪いことを知って皆はっきりと定めて裁かないとだめ。この摂理が日本の民族的宗教に至るまで神に仕えて信じる人になって民族の宗教を作らないとだめ。統一協会は国家の宗教にはなれない。神社も偶像になってはだめ。私が仕える全知全能の神だけが国家の、世界の神になれる。聖書に基づいてRの教えを受け入れると、国家、民族、世界の宗教になれる。なぜ反日感情があるのか、み言葉をまくと悪い感情が解決するようになる。だからRは歴史を見て悟って世に現れた。

統一王国のダビデの2人の息子、1人はソロモン、1人はアブサロム、北イスラエルと南ユダがあった。北でアブサロムが「ダビデから王の後継をもらった」と騒いでいた。北の人はアブサロムが王と信じてその人のことを聞いていた。しかしソロモンはすでに王として後継ぎにされた。南では(王は)ソロモンと思っていた。ダビデが愛して好きな人から生まれた人がソロモン。気になる愛で生まれたが、本当に愛が燃えて生まれた子から相続された。アブサロムは、自分が王ではなくてソロモンが王だと知って、軍人を要請して攻撃しようと思った。ダビデはとても苦しんだ。しかしアブサロムのしていることを見て我慢ができなくなって、彼を倒そうとした。アブサロムが馬に乗ってダビデの軍人を攻撃しよ

うとした時、木の枝に頭の髪の毛だけが引っかかって馬は逃げた。軍人は「自分の父を殺そうとする人がどこにいるか」とアブサロムを殺してしまった。それを聞いたダビデは「なぜ殺したのか」と怒り「連れて来たらよかったのに」と言った。そして、アブサロムを殺した人をその場で殺した。

北イスラエルでは、王ではないのに王だと言って騙された。その後ソロモンが王だと気付いた。だから宗教も訳の分からないまま信じると大変なことが起こる。統一協会では（ ）が救い主と言っているが、誰でも救い主になれるわけではない。そういうと皆が好奇心でついていく。救い主は隠れて世に現れずに、後で密かに現れる。偽物が先に現れて、後で本物のソロモンが現れた。本物は後、偽物は先に来る。最後の歴史なのについてくる皆が誰よりも、この歴史が本物とプライドを持ってついてこないとだめ。救い主は誰でも、どのような民族でも必要だ。

歴史について皆何か分かったか。歴史意識が湧いてくるでしょう。皆、歴史論を学ばなくても、これが本物だと分かるから、今まで語られなかった。私たちの歴史はとても易しい。1978年から7年7年7年の1999年になると前半が終わる。1999年になると大集会を開こうと思っている。その時に全世界の人が集まる集会。その時、日本から少しだと恥ずかしい。韓国は2年で1000人を越えた。少し時間が経ってすぐに3000人に。いつ一万人かと考えていたが、アッという間に一万人に。韓国の摂理も教会が200と言うとビックリする。Rが活着ている間にRの同じ時代の歴史がこういう使命の期間があるということ。世界的にこの福音が広がって徐々にまかれた福音は成長していく。Rも皆も若い時に会って如何にいいか。後の人は、皆のように直接見れない。だから後で永遠に残せる記録に保つものが必要。Rも残すためにテープを使うと切れたりしてはだめだから、永遠に残せるように考えてしている。ウルミョンドンも未来を考えて、皆が集まることを考えて、三万人入る施設を建てようとしている。

私たちは最後の歴史なのに・・・